

講義名	教育実習【教職科目】			授業形態	
担当教員	池田 曜子 / 田邊 良祐 / 西尾 範博	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
		単位数	3	履修開始年次	4年生
				ナンバリング・コード	TTC401

主題と概要

この授業は、教育実習事前指導、教育実習指導、教育実習事後指導から構成されます。
 教育実習は、教育職員免許状を取得するための必修の実習科目であり、教育職員免許法施行規則第6条に基づき行われるものです。教職課程履修者の中で、3年生終了時点でに所定の単位を修得した人は、4年次に実際の学校現場において、教職課程の学びの成果を実践的に発揮し学ぶこととなります。
 教育実習を通して学ぶことは、教科の学習指導と学校や学校全体の運営についてです。大学で学んだ知識や理解、理論、技術について再度考え直し、「教員としての自分」が納得できる学習指導案の作成と実践ができるようにしなければなりません。さらに、学校や学校全体の運営においては、教員の職務は教科の学習指導だけではなく、教科外の学習活動の指導も重要な職務であること理解してください。教育実習生は、教育実習中に、指導教員の受け持つ学校のホームルーム活動や学校行事において、活動の様子をみたり、実際に指導を行ったりますこととなります。そのため、指導教員の学級運営の目標や学期ごと、年間計画や、学年や学校全体の教育活動との関連を知り、指導教員が実際にどのようにそれを展開し、実現しようとしているか理解することに努めてください。

到達目標

教育実習生としてふさわしい力量と人格形成
 1. 教員としての使命感や責任感、教育的愛情が育成できるようになる。
 2. 社会性や対人関係力が育成できるようになる。
 3. 生徒理解や学級経営に関する力量が育成できるようになる。
 4. 教科内容に関する力量が育成できるようになる。

提出課題

レポート、指導案、模擬授業、実習後の報告会のためのパワーポイント作成

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

模擬授業後コメントと改善点を指導します。

評価の基準

レポート、模擬授業、報告会での発表(20%)、実習校での評価(80%)を総合的に判断します。

履修にあたっての注意・助言他

欠席・遅刻をせずに、必ず全ての授業を出席するようにしてください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

適宜、必要な教科書等を指示する。

授業計画

1. 教育実習の意義と課題
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をすることで理解を深めること(240分)
2. 周辺の生徒の理解と指導
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をすることで理解を深めること(180分)
3. 学校の教育課程編成の工夫
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をすることで理解を深めること(180分)
4. 授業観察の視点
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をすることで理解を深めること(180分)
5. 授業づくりの方法
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)
6. 指導案に基づく模擬授業
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)
7. 教科外指導の経験・参加、実習ノートの使い方
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し、模擬授業の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)
8. 事後学習と研究レポート、模擬授業
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し、模擬授業の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)
9. 学校の運営、教職員
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し、模擬授業の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)
10. 教職実践演習について、模擬授業
予習内容：授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し、模擬授業の準備を行うこと(60分)
復習内容：授業内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)
11. 教育実習(2週間)
12. 事後指導「実習の反省・まとめ」
予習内容：実習校で学んだ事柄をまとめて授業に出席すること(180分)
復習内容：報告会発表資料を作成することで、教育実習での学びへの理解を深めること(180分)
13. 事後指導「まとめに基づくパワーポイントづくり」
予習内容：実習報告資料の内容を準備しておくこと(180分)
復習内容：報告会発表資料を作成することで、教育実習での学びへの理解を深めること(180分)
14. 事後指導「パワーポイント作成仕上げ」
予習内容：実習報告資料の内容を準備しておくこと(180分)
復習内容：報告会発表資料を作成することで、教育実習での学びへの理解を深めること(180分)
15. 事後指導「教育実習報告会(25分)」
予習内容：実習報告資料の内容を準備しておくこと(180分)
復習内容：報告会発表資料を振り返り、教育実習での学びへの理解を深めること(180分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を持続することができる学生を育てます。本授業でも、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動することが求められます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業は実施しない。

実務経験の有無及び活用

備考

「教育実習」は、3年生後期から開始し、4年生夏休みまでの授業です。教育実習中の訪問指導も含まれます。